



監修：順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座 教授
順天堂大学大学院 医学研究科疼痛制御学 教授（併任）

井関 雅子 先生



**患者さん本人以外は絶対に
使用しないでください。**

麻薬及び向精神薬取締法により厳しく罰せられます。

慢性疼痛について

慢性疼痛と治療方法……………	4
痛みの治療目標と治療設計……………	6

フェントス®テープを使うときの注意

使うときの注意……………	8
お薬が減量になった時の注意……………	10
副作用に関する注意……………	11
テープの保管方法……………	11
テープを捨てる時の注意……………	12

フェントス®テープについて

フェントス®テープについて……………	14
フェントス®テープは 医療用麻薬です……………	18
医療用麻薬の 使用にあたってのお願い……………	19

フェントス®テープの使い方

フェントス®テープの使い方……………	20
Q & A……………	26

海外渡航する際の手続きについて

海外渡航する際の手続きについて……………	36
許可書提出先一覧……………	38

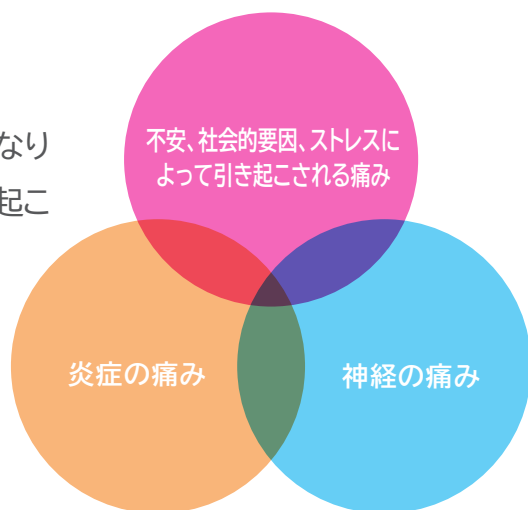
慢性疼痛について

慢性疼痛と治療方法

「慢性疼痛」とは一般的に、病気やけがが治っても消えない痛みを指します。痛みの原因が治ったにもかかわらず痛みが続き、慢性化するような場合や、痛みの原因そのものが治らず持続している痛みも「慢性疼痛」と呼びます。

一概に痛みといっても、原因や状態によって異なり、痛みを引き起こす原因によって、大きく3つに分けることができます。①けがなどによる炎症や刺激による痛み、②神経が傷害されたり圧迫されることで起こる痛み、③不安、社会的要因、ストレスによって引き起こされる痛みがあります。

このような要因が複雑に重なり合って、「慢性疼痛」を引き起こします。



慢性疼痛の治療には、お薬による治療のほか、理学療法、神経ブロック、リハビリテーション、心理療法などを組み合わせた治療を行い、痛みの程度の改善にとらわれず、日常生活の改善を目標にすることが重要です。

さまざまな治療をしても
痛みがよくなる場合に、
医師の判断で医療用麻薬による
治療を行います。



慢性疼痛について

痛みの治療目標と治療設計

慢性疼痛の治療目標は痛みをやわらげて日常生活を改善することです。

痛みの治療は患者さんそれぞれに合った方法で行われます。定期的にその治療効果を確認し、その時点でもっともよい治療方法を選びます。また、運動をする、睡眠をとることなどによって痛みがおさまることもあります。日常生活において患者さんご自身で痛みをコントロールできるような治療設計も取り入れていきましょう。

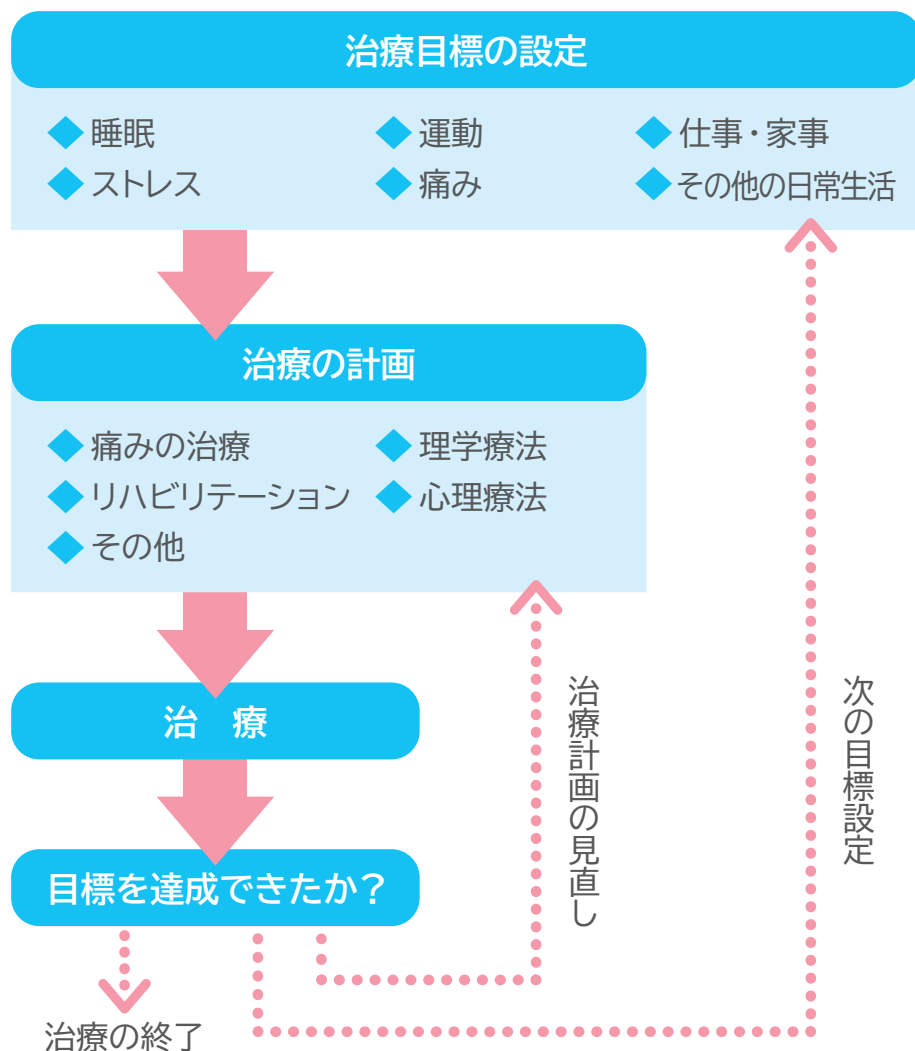
痛みの治療において生活改善の目標を立てることは、とても重要なことです。

治療目標の設定

- ◆睡眠……………よく眠れるようになる
- ◆運動……………体操や、散歩に出られるようになる
- ◆仕事・家事……………仕事や家事をできるようになる
- ◆ストレス……………ストレスを抱え込まないようにする
- ◆痛み……………痛みがやわらぎ、ひとりで歩けるようになる
- ◆その他の日常生活…趣味を楽しめるようになる など

小さな目標から立てて、日々の症状やできたことを書きとめる、「痛みの治療日記」をつけてみましょう。

患者さんご自身が「治療に参加する」という気持ちが大切です。



フェントス®テープを使うときの注意

使うときの注意

※「フェントス®テープ」は本文中では「テープ」と表記しています。

◆このお薬は『医療用麻薬』です。必ず担当の医師または薬剤師の指示に従ってご使用ください。

◆痛みをやわらげる以外の目的で使用しないでください。

痛みに対して大変強い効き目がありますが、痛みのない人が使用したり、医師の指示と異なる方法で使用すると中毒になることがあります。医師の指示どおりに使用してください。

◆患者さん本人以外は絶対に使用しないでください。また、他の人に渡さないでください。

◆次のような場合は医師または薬剤師に相談してください。

① 40℃以上の発熱がある場合

40℃以上の発熱がある場合、体内に吸収されるお薬の量が増え過ぎることがあります。

② 妊娠している、または妊娠の可能性がある場合

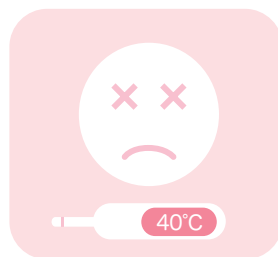
お薬が胎児に影響することがあります。

③ 授乳中の場合

お薬が母乳に移行し、乳児に影響を与えることがあります。

④ 他に服用しているお薬がある場合

薬局・ドラッグストアで買ったお薬も含みます。
他のお薬と併用することにより、お薬の効果などに影響することがあります。



- ◆テープを貼った部位が熱源に接しないようにしてください（電気パッド、電気毛布、カイロ、加温ウォーターベッド、赤外線灯、集中的な日光浴、サウナ、湯たんぽ、こたつなど）。

体内に吸収されるお薬の量が増え過ぎることがあります。



- ◆入浴時間を考慮し、時刻を決めて、1日1回貼り替えてください。

入浴する場合は長時間あるいは、熱い温度を避けてください。

体内に吸収されるお薬の量が増え過ぎることがあります。



- ◆テープの使用中は車の運転や危険な機械の操作は避けてください。

お薬により眠気、めまいが起こることがあります。



- ◆テープの使用中は飲酒を控えてください。

体内に吸収されたお薬とお酒が互いに影響し、眠気やめまい、呼吸抑制になることがあります。



- ◆ 担当の医師の指示なしに使用量（貼る枚数）を変更することは絶対にしてはいけません。
- ◆ このテープをハサミなどで切って使用しないでください。
- ◆ 傷口あるいは皮膚に異常があるところなどには貼らないでください。
- ◆ 何か異常が認められた場合には、担当の医師または薬剤師に相談してください。

お薬が減量になった時の注意

- ◆ 担当の医師の指示どおりに使用し、**急に中止しない**ようにしてください。
- ◆ はきけ、眠気、めまい、発熱、筋肉痛などがあらわれた場合は医師に連絡し指示に従ってください。

副作用に関する注意

- ◆ 次のような症状があらわれた場合は、すぐにテープをはがし、医師に連絡して指示に従ってください。
- ① 呼吸が苦しくなる、不規則になる、浅くなる、遅くなるなどの、呼吸が異常になる症状。
 - ② 意識が薄れる、意識がなくなるなどの症状。
 - ③ 顔色が悪くなる、冷や汗が出る、脈が弱くなる、速くなるなどの症状。
 - ④ 筋肉がひきつる、けいれんをおこすなどの症状。
 - ⑤ 不安になる、混乱する、いらいらするなどの症状。

テープの保管方法

- ◆ 未使用のテープは包装袋を開けずに、子どもまたはペットがさわれない、高温にならないところに保管してください。



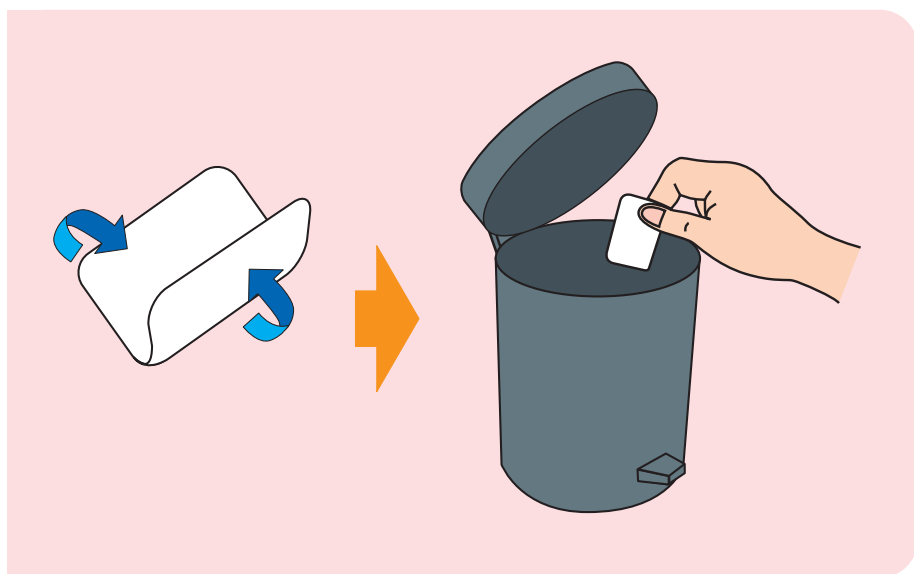
.....使用前に必ず読んでください。.....

フェントス[®]テープを使うときの注意

テープを捨てる時の注意

- ◆テープの粘着面が内側になるように貼り合わせてから廃棄してください。

子どもやペットがさわれない場所に廃棄してください。使用済みのテープでも重大な影響をおよぼすことがあります。



◆使用しなかったテープは病院または薬局に返却してください。



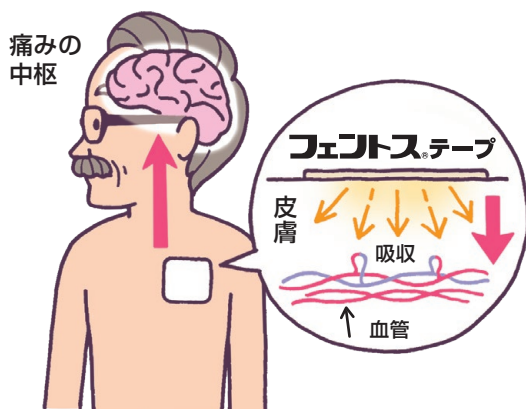
その他、このお薬に関するお問い合わせは担当の医師
または薬剤師にお尋ねください。

フェントス[®]テープについて

フェントス[®]テープについて

- ◆フェントス[®]テープは慢性の強い痛みをやわらげる医療用麻薬です。
 - ◆このお薬は皮膚に貼るタイプで、フェンタニルという痛みを止める成分が皮膚から体内に少しずつ吸収され、血液の流れに乗って痛みを伝える神経や痛みの中枢にはたらき、強い痛みをやわらげます。
- 皮膚に1回貼ると痛みをやわらげる効果が1日（約24時間）持続するように作られています。貼って1日（約24時間）たったなら新しいテープに貼り替えてください。
- ◆あなたの痛みの強さや身体の状態によって、貼るお薬の用量と枚数が異なります。

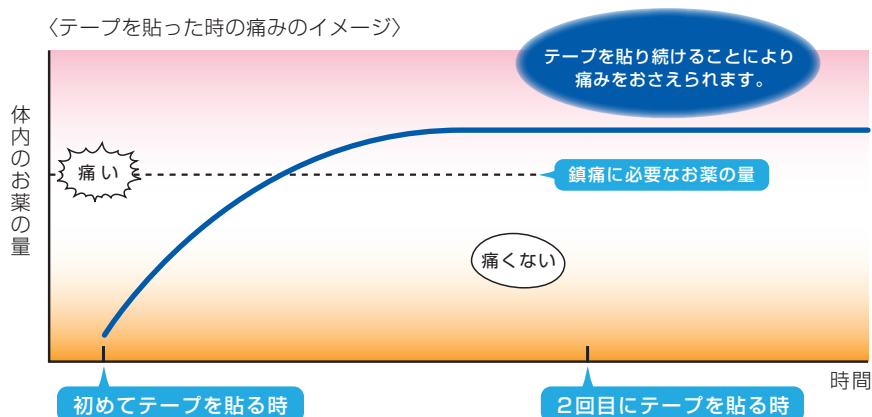
痛みがあるところに貼れば
効き目が強くなるという
わけではありません。
正しい位置に貼りましょう。



- ◆痛みをやわらげるためには、ある程度のお薬の量が体の中にある必要があります。

このテープは、お薬が皮膚から体の中にゆっくり吸収される仕組みのため、初めて使用するときや、お薬の量を増やしたときに、すぐに効果があらわれないことがあります。

そのため、以前から使っていた痛み止めを一時的に一緒に使うことがあります。突然の強い痛みには、すぐ効くタイプの痛み止めを使ったり、別の治療法が加わったりします。また、ご自身の痛みにあったテープの用量と枚数を決めるのに時間がかかることもあります。



ご自身の判断で貼る枚数を変えたり、決められた日時以外に貼り替えたりしないでください。

フェントス®テープについて

フェントス®テープには6規格のテープがあります。痛みの程度によって使うテープの用量や枚数が異なります。

製品名	フェントス®テープ 0.5mg	フェントス®テープ 1mg	フェントス®テープ 2mg
用量	0.5mg	1mg	2mg
外観※ (お薬本体)			
寸法(縦×横)	1.59cm×3.16cm	2.24cm×2.24cm	3.17cm×3.17cm



患者さん本人以外は、絶対に使用しないでください。
毎日貼り替えて使用します。

フェントス®テープ 4mg	フェントス®テープ 6mg	フェントス®テープ 8mg
4mg	6mg	8mg
フェントス®テープ 4mg (1.2mg/日) 月 日 時 1日1回 貼付	フェントス®テープ 6mg (1.8mg/日) 月 日 時 1日1回 貼付	フェントス®テープ 8mg (2.4mg/日) 月 日 時 1日1回 貼付
4.48cm×4.48cm	5.48cm×5.48cm	6.33cm×6.33cm

※図は、実際の大きさとは異なります。

フェントス®テープについて

フェントス®テープは医療用麻薬です

強い痛みはさまざまな治療を行っても治りにくいことが多く、効きめが強い医療用麻薬が使われます。医師の指導のもとで決められたお薬の量および時間を守って正しく使えば、中毒になることはありません。

慢性疼痛に使用される医療用麻薬にはフェントス®テープのほか、モルヒネやコデインなどがあります。これらのお薬には、呼吸が苦しくなる、不規則になる、浅くなる、遅くなるなどの、呼吸の異常や意識が薄れるなど危険な状態になる副作用があらわれることがあります。

最初にモルヒネかコデインなどを使用して、痛みがおさまらなかったり、副作用が出た時など、その時の患者さんの状態によって、医師の指示によりフェントス®テープに替えます。

医療用麻薬の使用にあたってのお願い

- ◆必ず担当医師または薬剤師の指示に従ってご使用ください。
- ◆患者さん本人以外は絶対に使用しないでください。また、他の人に渡さないでください。
- ◆医師の指示なしで、途中ではがしたり、貼る枚数を変えないでください。
- ◆このテープをハサミなどで切って使用しないでください。



このお薬は、慢性疼痛を治療するお薬です。

P20～35の使い方をよく読んでお使いください。

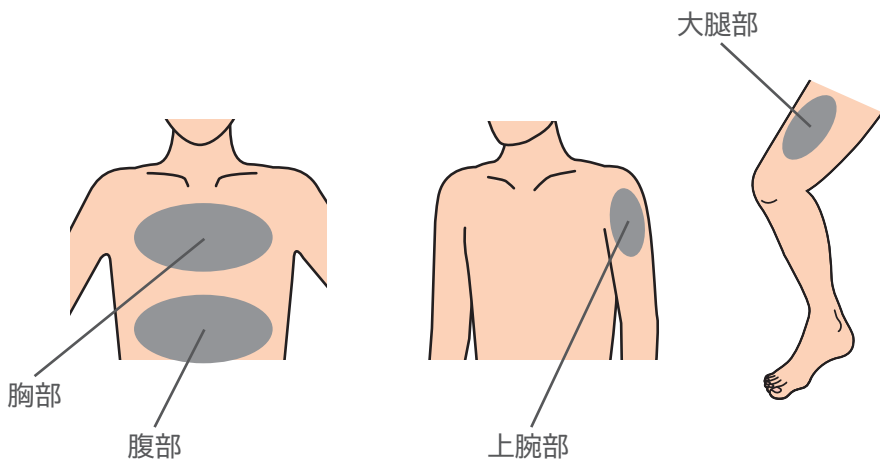
フェントス®テープの使い方

フェントス®テープの使い方

※「フェントス®テープ」は本文中では「テープ」と表記しています。

はじめに

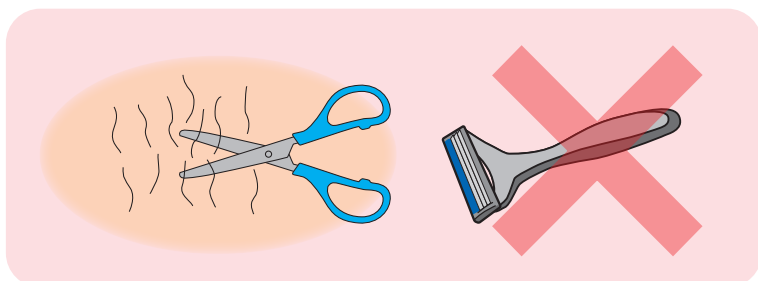
- ◆テープを貼る場所を決めます。胸部、腹部、上腕部、大腿部などに貼ってください。貼る部位は毎回かえてください。



- ◆ あらかじめ貼る部位を清潔にしてください。このとき、石けん、アルコール、ローション等を使用しないでください。また、水分や汗をよく取り除いてください（お薬の有効成分の皮膚からの吸収に影響することがあります）。



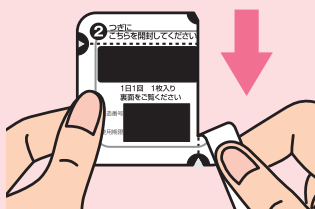
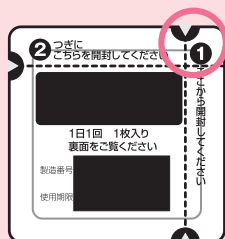
- ◆ なるべく体毛のないところに貼ってください。体毛が濃い場合は、カミソリを使わずにハサミで短くカットしてください。



フェントス®テープの使い方

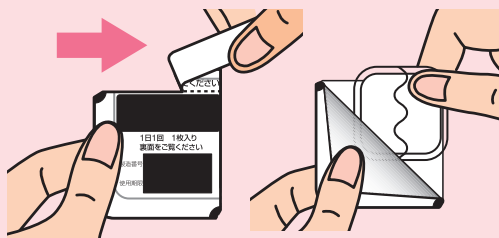
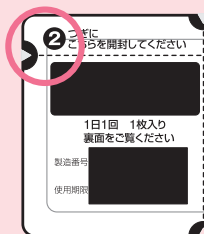
1

“①ここから開封してください”と書いてあるところから手で破ってください。



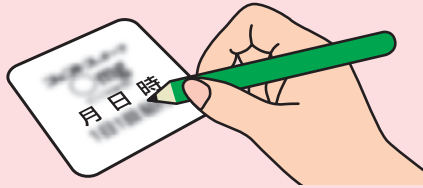
2

“②つぎにこちらを開封してください”と書いてあるところを破ってテープを取り出してください。



3

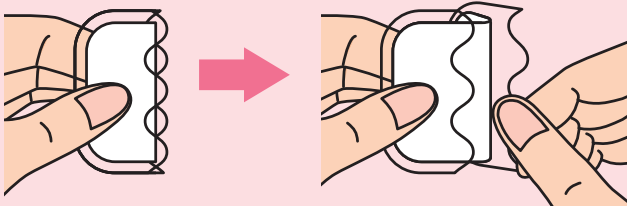
テープを貼る日にちと時間を記入してください(テープ表面の○月○日○時と書いてあるところに直接記入できます)。



ペン・ボールペン・鉛筆などで直接記入することができます。
水性ペンの場合は速乾性に劣るのでご注意ください。

4

テープには透明なフィルムがついていますので、「ここからはがす」と表示されたフィルム面を上にしてかるく半分にまげ、片方のフィルムをはがしてください。

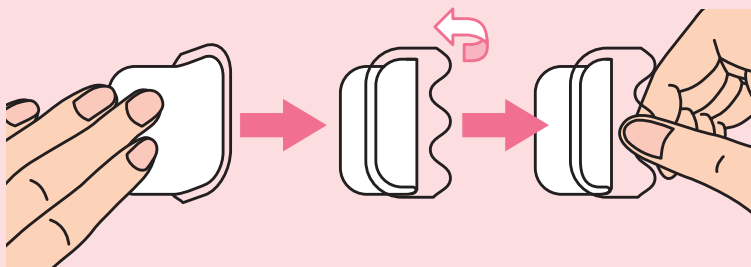


粘着面にふれないでください。

フェントス®テープの使い方

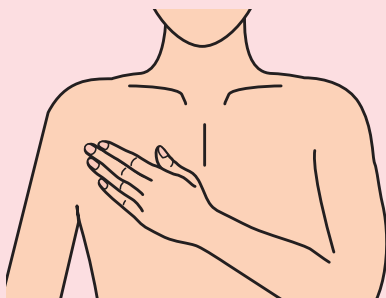
5

透明なフィルムを取り除いたテープの半分を貼ってください。次に、残りの半分を貼ってください。



6

テープを貼った後は、**手のひらでしっかり押さえてください。**



7

テープを貼った後は水道水で手をよく洗ってください。



フェントス®テープの使い方

Q&A

Q₁

痛くなくなったので、フェントス®テープの使用をやめてもよいでしょうか？

A

ご自身の判断でテープの使用をやめないでください。

急に使用をやめると、異常に汗をかいたり、眠れなくなったり、下痢が止まらなくなったりすることがあります。

痛みのコントロールをしていくなかで、他の不都合な症状があらわれないように、主治医の先生が使用のお薬の量の調節や使用中止の判断をしますので、必ず医師に相談してください。



Q₂

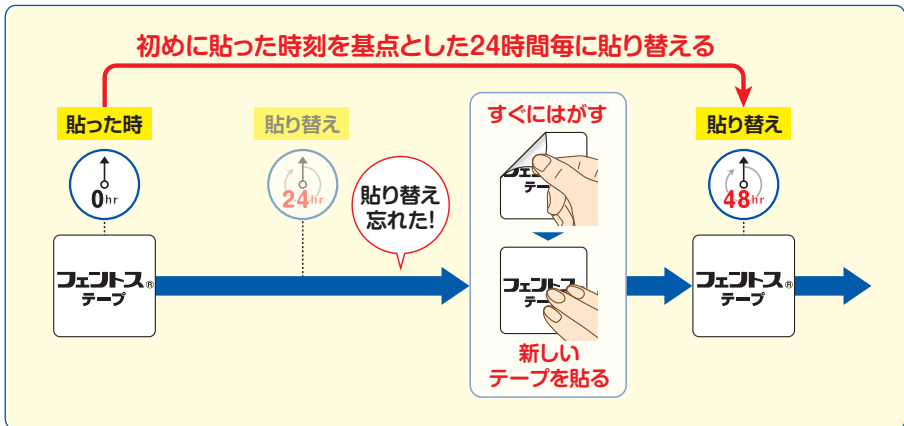
フェントス®テープを貼り替え忘れた場合はどうすればよいのでしょうか？

A

テープを貼り替え忘れた場合は

- ◆ 貼り替え忘れに気づいた場合は、**すぐにはがして**新しいテープに貼り替えてください。
- ◆ 次回は、**初めに貼った時刻を基点とした24時間毎**に貼り替えてください。
- ◆ 念のため医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

貼り替え忘れた場合



フェントス®テープの使い方

Q₃

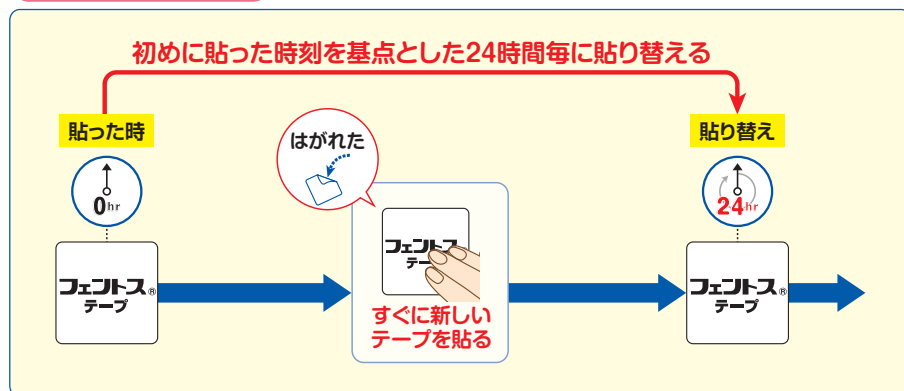
フェントス®テープが1日たたないうちにはがれた場合はどうすればよいのでしょうか？

A

テープがはがれた場合は

- ◆ テープがはがれた場合は、すぐに新しいテープに貼り替えてください。
- ◆ 次回は、**初めに貼った時刻を基点とした24時間毎**に貼り替えてください。
- ◆ 念のため医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

完全にはがれた場合



P8～13の「フェントス®テープを使うときの注意」を必ずお読みください。

Q4

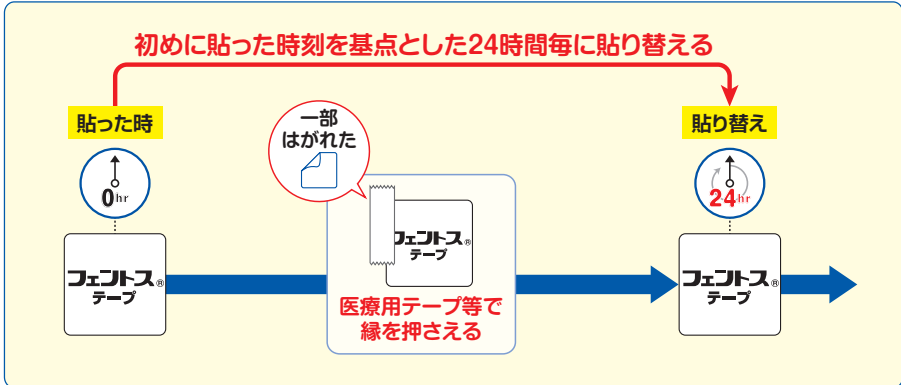
フェントス®テープがはがれかけた場合はどうすればよいでしょうか？

A

テープがはがれかけた場合は

- ◆ テープがはがれかけた場合は、**すぐに医療用テープ**などで縁を押さえてください。
- ◆ 次回は、**初めに貼った時刻を基点とした24時間毎**に貼り替えてください。
- ◆ 念のため医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

一部はがれた場合



P8～13の「フェントス®テープを使うときの注意」を必ずお読みください。

フェントス®テープの使い方

Q5

決められた枚数より多く貼ってしまった時はどうすればよいでしょうか？

A

貼っているテープをすぐにはがして、担当の医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

次回の診察までにテープの枚数が足りなくなる場合は、早めに受診して担当の医師に伝えてください。



Q6

フェントス®テープを貼ったところがかゆくなっていました。テープをはがしてもよいでしょうか？

A

ご自身の判断でテープをはがしたり、貼っている部位にかゆみ止めのお薬を塗らずに、医師、看護師または薬剤師に相談してください。

次回テープを貼る時は肌がかぶれないように、前にテープを貼った部位と別の部位に貼ってください。



フェントス®テープの使い方

Q7

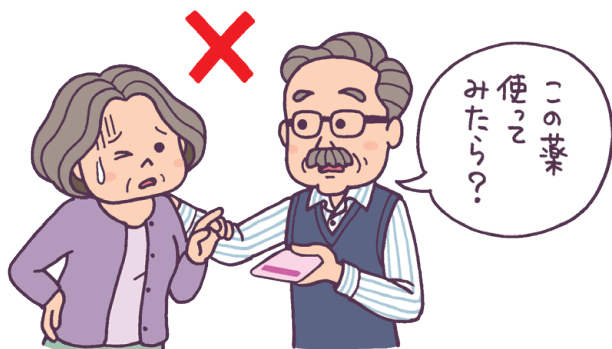
余ったフェントス®テープを痛みで苦しんでいる人に
ゆずってあげてもよいでしょうか？

A

絶対に他の人へテープをゆずったり、渡したりしないで
ください。このテープは強い痛みをやわらげるためのお
薬ですが、医師の指示に従わないで使うと、重大な副作用
があらわれることがあります。

医療用麻薬は、他の人に渡すことができないことが法律で
決められています（麻薬及び向精神薬取締法により厳しく
罰せられます）。

使わずに余ったテープは病院または薬局に返却し、適切に
廃棄してもらってください。





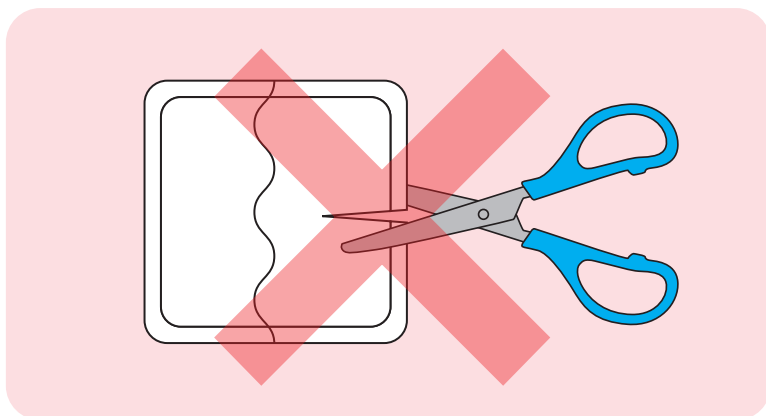
フェントス®テープを切って使ってもよいでしょうか？

A

テープをハサミなどで切ったり、大きさを変えて使うことはできません。

大きさを変えてしまうと、決められたお薬の量が体内に吸収されなくなってしまい、お薬の吸収が少ないと痛みがとれないことがあります。

決められた大きさのテープを貼ってください。また、傷のついたテープは使用しないでください。



フェントス®テープの使い方

Q₉ フェントス®テープを貼ったままお風呂に入れますか？

A

テープを貼ったままでも、40℃程度のぬるめのお風呂に入ったり、ぬるめのシャワーを浴びることはできます。ただし、汗をかくほど長くお風呂には入らないでください。シャワーを浴びる場合は、なるべくお薬を貼った部分に長時間お湯をかけないようにしてください。

体内に吸収されるお薬の量が増えて副作用があらわれることがあります。

また、テープをはがした後も、吸収されたお薬が皮膚に残っていますので、熱いお風呂に入らないようにしてください。入浴後はテープがはがれていないか確認してください。



Q10

フェントス®テープを貼ると中毒になったり、やめられなくなったりしませんか？

A

麻薬の不正使用などで「麻薬は中毒になる」という印象がありますが、持続的な痛みのある患者さんが医療用麻薬を使っても中毒になりにくいと考えられています。

また、痛みが弱くなれば少しずつ量を減らしていったりやめることもできます。その時は必ず医師の指示に従いましょう。

テープを長期にわたり使っていて、医師のテープの用量や枚数を減らす・やめる、といった指示に従うことができず、テープをたくさん貼りたい、テープがないと不安な気持ちになる、などの症状がある場合は速やかに医師に相談してください。



海外渡航する際の手続きについて

海外渡航する際の手続きについて

このお薬を使いながら海外渡航する際は、事前に地方厚生局長の許可を必ず受けてください。このお薬を持って出国または入国できます。

① 許可の申請

申請書と医師の診断書を添えて、各地区の地方厚生（支）局麻薬取締部に提出します。出国する日または入国する日の2週間前までに申請書等を提出します。

余裕をもってなるべく早めに提出した方がよいでしょう。

手続きについてわからない点は、各地区の地方厚生（支）局麻薬取締部にて相談を受け付けています。

② 渡航先での注意

海外では、医療用麻薬の持ち込みについて日本と異なる法規制を行っている場合があります。海外の法規制に関する問い合わせ先は各国の在日大使館等です。

※P38～39に「麻薬携帯輸入（輸出）許可申請書提出先」を掲載しています。



海外渡航する際の手続きについて

麻薬携帯輸入(輸出)許可申請書提出先

お問い合わせする際には「医療用麻薬いりょうようまやくの携帯輸出けいたいゆしゅつの件で」とお伝えください。

北海道厚生局 麻薬取締部	北海道
東北厚生局 麻薬取締部	青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島
関東信越厚生局 麻薬取締部	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、 神奈川、山梨、長野、新潟
東海北陸厚生局 麻薬取締部	静岡、愛知、三重、岐阜、 富山、石川
近畿厚生局 麻薬取締部	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山
中国四国厚生局 麻薬取締部	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国厚生支局 麻薬取締部	徳島、香川、愛媛、高知
九州厚生局 麻薬取締部	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、 宮崎、鹿児島、沖縄



このお薬が余っても、患者さん以外の人が使ったり、他人



2023年2月現在

〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎	011-726-3131
〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎	022-221-3701
〒102-8309 千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎17階	03-3512-8688
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館	052-951-6911
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第4号館	06-6949-6336
〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館	082-227-9011
〒760-0019 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎4階	087-811-8910
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎	092-472-2331

に渡すことは絶対にしないでください。

病院名・診療科名

緊急連絡先

TEL

主治医

担当看護師

担当薬剤師

